

令和4年11月9日

岐阜市教育委員会  
教育長 水川 和彦 様

岐阜市教育振興基本計画検討委員会  
委員長 玉置 崇

第4期岐阜市教育振興基本計画の策定について（答申）

令和4年6月1日付け岐阜市教育委員会議決第30号で諮問のありました第4期岐阜市教育振興基本計画の策定について、下記のとおり答申します。

記

諮問事項

**岐阜市教育大綱の基本方針、及び子ども、学校・教職員、家庭・地域それぞれの目指す姿を具現化するための今後5年間の教育の基本的方向性と主な施策について**

- ・本委員会において、岐阜市が今後目指す教育の姿を念頭に置いて議論を重ね、基本目標と取り組むべき主な施策を整理したので、計画策定の参考とされたい。
- ・計画策定後は、計画に込めた思いや目指す教育の姿が、教育に携わる全ての大人の共通理解となるよう、広く周知していくことに努めていただきたい。そして何より、子どもたち一人ひとりが、希望あふれる未来を拓く力を育ていけるよう、オール岐阜市で教育の充実に取り組む、その姿を力強く体現していただきたい。

諮問事項

**現計画に掲げるコンパス・キューブやコモン・チャレンジ・サポートの考え方を、次期計画の目指す教育の在り方に即した形へと発展させていくための視点について**

- ・コンパス・キューブが示す資質・能力は、学習指導要領が掲げる「生きる力」を身につけるための3つの柱と合致するものであり、その考え方は、次期計画期間においても不変のものである。今回の審議を通じて、コンパス・キューブの考え方を整理し、新たに「未来を拓く力」を示した。その根底に、自己肯定感及び相互承認の力を据えることにより、岐阜市教育大綱が掲げる基本方針の理念を反映し、本市の教育が目指す姿を正確に捉えたものとしている。

- ・コモン・チャレンジ・サポートの考え方が根底に持つ、子どもたちの個に応じて適切に関わる姿勢は今後も大切にすべきである一方、それらを過度に区分することなく、シームレスに関わることが肝要である。その考え方のもと、今回示した計画体系図は、各主体が一体的、協働的に関わる姿を念頭に置いた構成としている。

#### 諮問事項

**「オール岐阜市」で取り組むために、教育に関わる全ての人々にとって身近で、親しみやすい計画としていくための工夫について**

- ・今回、計画の形やデザインについて、子どもたちと一緒に考える試みを行った。子どもたちが発想するアイデアとして、この計画を広く市民の方々に読んでもらうために、「分厚い、文字ばかりの計画ではなく、ボリュームを減らして読みやすくする」、「誰もが分かりやすい言葉を選ぶ」、「紙で作るのではなく、いつでも見られるようデジタルベースで作成する」などの意見が出された。
- ・今後の計画策定においては、これらの子どもたちが考えてくれたアイデアをぜひ可能な限り具現化し、計画の形に反映するよう努めていただきたい。

#### 諮問事項

**EBPM の考え方に基づく、客観的な根拠に意を用いた計画の点検評価の手法について**

- ・計画の点検評価をより実効性のあるものとしていくため、「定量」及び「定性」双方の根拠に基づいた点検評価の実施が必要である。
- ・定量の観点としては、各事業などの具体的な取組の点検評価の際、その実績、効果を積極的に数値等で把握するとともに、計画の大目標である子どもたちの未来を拓く力を育むことができているか、代表的な指標をピックアップして把握するなど、大局的な視点での評価を併せて行うことに努めていただきたい。
- ・定性の観点としては、点検評価の際、単に取組の実績を述べるに留まらず、その取組を通じて、子どもたちの成長や学校現場にしっかり寄与できているか、取組にまつわるエピソードを収集したり、子どもたちの様子や声を捉えた動画を用いたりしながら、その実態の詳細な把握に努めていただきたい。